

2023年度入試

# 入学試験問題集

【国際学部 国際学科】



東京成徳大学

## 目 次

総合型選抜 9月入試 小論文	1
総合型選抜 10月入試 小論文	2
総合型選抜 12月入試 小論文	3
学校推薦型選抜（公募入試／指定校入試） 小論文	4
国際学部特待生入試 英語ライティング	5
一般選抜 D日程入試 総合型問題（学部学科別）	6
出題意図	8

「一般選抜A日程・B日程・C日程」の問題は、  
「2023年度入試問題集 一般選抜A日程・  
B日程・C日程」に掲載しています。

# ● 総合型選抜 9月入試

## 【小論文】（試験時間：60分）

次の文章を読んで設問に答えなさい。

問1 下線部1「必要悪」とは、ここではどういうことか、100字程度でまとめなさい。

問2 下線部2「女性はこう、男性はこう、と刷り込まれているようです」とあるが、言葉遣いの性差について、具体例を挙げながらあなたの意見を500字程度で述べなさい。

### 翻訳で語り手示す必要悪 越前 敏弥さん（文芸翻訳者）

英語の話し言葉を日本語に翻訳するとき、女言葉の「わ」「のよ」や男言葉の「だよ」「さ」などを全く使わないわけではありませんが、最小限になるよう努めています。

文字媒体は映像媒体と違い、顔は見えないし声は聞こえません。こうした表現を全部やめたら、読者は誰が話しているかわからなかったり、生きたセリフをしゃべっているように感じられなかったりするでしょう。イメージを「クリア」にしたというのが根底にあります。必要悪<sub>1</sub>といたらいいでしょうか。

英語の場合、セリフの中に「she said（彼女は言った）」や「he said（彼は言った）」がやたらと入ります。これで話す人が女性が男性かがわかる。でも、日本語で同じことをやったらうるさいし、そこまで英語の論理に引張られるのもどうか。不自然さや読みづらさを避けるために、最小限の調整をするのはやむをえないと思っています。

翻訳の仕事始めた当初は、こうした言葉を今よりも使っていました。ダン・ブラウンの「ダ・ヴィンチ・コード」の翻訳が出たのが2004年ですが、このときは主人公のソフィーの発言に「わ」をつけています。

でも、その次のダン・ブラウン作品の翻訳でかなり減らし、その後も積極的に減らしていきました。現在は「わ」や「だわ」は、よほど特徴的な人物以外は使いません。男言葉の「だよ」や「さ」も同じ時期から減らしています。

社会の流れもありますが、「だわ」や「さ」で終わるのを読むのが、自分の中でうとうとしくなったことがあります。こうした言葉なしでも、翻訳の工夫で出来るかぎり話者が判別できるようにしたいと考えています。

翻訳学習者などは、平気で訳文に「わ」や「さ」を使いたがります。物語とはそういうものと思いついでいるのかもしれませんが、女性はこう、男性はこう、と刷り込まれているようです<sub>2</sub>。僕が指導するときは、現代ものの場合、それらを削ることが多いです。

ただ、数十年前の日本のドキュメンタリー映像を見ると、実際にこうした語尾で話す人たちがでてきます。僕もクラシックものの翻訳では、女言葉や男言葉を、現代ものの場合よりちょっと多めに入れます。例えばエラリー・クイーンの推理小説。1930年代の作品ですから。このことは付け加えておきます。（聞き手・刀祢館正明）

# ● 総合型選抜 10月入試

## 【小論文】（試験時間：60分）

次の文章を読んで設問に答えなさい。

問1 筆者は言語と文化の関係についてどのように考えていますか。20字以内でまとめなさい。

問2 筆者が英語中心主義的な主張に反対しているのはなぜですか。35字以内でまとめなさい。

問3 「文化の多様性」と「グローバル化」の関係について、具体例を挙げてあなたの考えを500字程度で述べなさい。

地球温暖化などに見られる環境の悪化・破壊と、それに伴う動物や植物の種の滅亡の危機が指摘されますが、それと同時に、人類の言語や文化の多くも滅亡の危機に瀕しています。人類の言語のうち、一年に20パーセントが消えていくという報告もあるのです。日本でもアジア・太平洋地域で消えゆく言語を救おうという研究が進んでいます。ネトルとロメインが指摘するように（『消えゆく言語たち』）、北米の先住民の人たちの約70あるエスニック・グループ中で56グループは、彼らの固有の言語を喋る人が全て50歳以上になってしまっていて、若い人たちは彼らに固有の言語を知らないといっています。その世代がいなくなれば、その言語は失われてしまいます。さらに、10人から15人くらいしか話せる人がない言語もあるとされます。こうした事情はオーストラリアをはじめ多くの地域の先住民の場合でも見られます。

そして、ほとんどの場合、言語がなくなれば文化もなくなります。

加えて、グローバル化の急速な進展の結果、おのおのの言語は大きく変わっていきます。日本でもこの100年以上の間に、伝統的な言葉が随分と新しい言葉に入れ替わりました。同じ言葉でも意味が変わったものもあります。さらには、文化の変化の面でも、もちろん大きいものがあります。たとえば、日本の伝統的な服装である着物ですが、日本国内でも地域によっては多少異なりますが、日常生活で着物(和服)を着用する男性は稀であり、女性も急速に少なくなっています。かつての大学の卒業式には振袖姿はつきものでしたが、いまではその光景も少なくなっています。日本の伝統的な文化が急速に変容して、それらを記憶にとどめていない世代も出てきています。ある席で京都の大学の先生がこんな発言をしたことがありました。伝統文化である着物を絶やさないようにするには、着物を着て外出し、買い物したら割引をするといったことを奨励したらどうか、というものでした。

このようなことを考えなければ固有の文化を維持できないといった状況があるわけですが、それも、16世紀以降の西欧化、近代化、そして現在のグローバル化といった大きな変化の波に、世界各地の伝統文化が飲みこまれてしまっているということでしょう。大きな変化の発信源はおおむね欧・米で、文化もいまやその影響の下に大きく画一化されそうな状況になっているのです。

<中略>

日本においても、近代化の過程で「日本語をやめてフランス語にしまおう」といった主張があり、現在では「英語を第二公用語へ」という主張や「英語中心でやっぺいこう」という主張も一部で強くあるということを、私たちは認識しておかなければなりません。情報化やIT革命の波の中で、文化の多様性の擁護が忘れられるような傾向も容易に出てきます。私は、英語は重要だし、それを多くの日本人が習得する必要は認めますが、英語中心主義的な主張には反対です。世界には多くの重要な言語があるし、東アジアでは中国語や韓国語の重要性ももっと認識すべきです。外国語に対する鋭い感受性を育てることがまず必要でしょう。

それにしても、世界の文化が急速に変化していることは事実ですが、「文化のファストフード化」とでも呼べる現象が露わに見られるようになってきました。実際にはすでに英語が世界に通用する国際語としてほぼ認められ、インターネットの言語としても定着しています。他の言語はこの現実はどう対処できるのか、というのは深刻な課題でもあります。それだけに、文化の多様性の擁護が、現代的な課題として重要になっています。

出典：青木 保『多文化世界』岩波新書、2003年

# ● 総合型選抜 12月入試

## 【小論文】（試験時間：60分）

次の文章を読んで設問に答えなさい。

問1 筆者が挙げている、日本の若者が投票に行かない理由は何ですか。二つ合わせて50字以内でまとめなさい。

問2 波線部「同様のこと」とはどのようなことですか。40字以内で説明しなさい。

問3 あなたは、日本の若者の投票率を上げるためにはどうしたらよいと考えますか。400字程度で述べなさい。

衆議院選挙の結果が出たが、私が気になるのは投票率が上がるのかどうか、ということであった。残念ながら、今回も投票率は低かった。

未曾有のパンデミックで、高齢者や基礎疾患を持つ人を除けば、その負の影響をより多く受けたのは若者だったと思う。大学生、就活生、若手社員、非正規労働者……社会の大きなショックの波をもちに受けるのはいつも若者たちだ。バブル崩壊やリーマン・ショックなどがそうであったように、今回のコロナ禍でも将来の夢や希望をへし折られ、病んでしまう若者を何人も間近で見た。

心の痛む現実であるが、同時に、日本の若者にはもっと声を上げてほしいとも思う。彼らはあまりにおとなしい。大したデモもしないしストライキもしない。みんな社会に出る前から、老人のように達観しているようだ。しかし若者にとって人生は長い。せつかくの人生なのだから、声を上げてより良いものにしないでどうするのか。

つまりは選挙に行き、自身に利益をもたらす政策を掲げる人や党に投票しなければならない。そうでなければ高齢者や既に成功している層にだけ都合のいい、若者にはしわ寄せばかりが来る社会になってしまう。

誰に投票すればいいのか分からないという理由のほかに、若者が選挙に行かない理由で多いのは「いま住んでいる市町村で投票することができなかったから」なのだそう（総務省の2016年「18歳選挙権に関する意識調査」より）。つまり、住民票を地元に残して、会社や大学のある都市部に住んでいる若者がたくさんいる、ということだろう。

こういう若者たちは、地元でも、現在住む場所でも、自分の利益を代表すべき議員や党を選んではないことになる。残念なことだが、何となく理由も分からなくはない。国会議員は東京にいる姿ばかり報道されるので、地元選出の議員が誰か分からない。分かってピンとこないし、地元と自分の利益を代表している人には全然見えないのだ。

実際、地元に戻るのは益暮れと選挙のときくらい、という議員もいるだろう。それに帰ったところで会って話すのはいつもと同じ支持者ばかりで普通の人には関係ない、という感じがするのである。

そこで私から一つ提案がある。アメリカのテレビニュースでは、連邦議会議員がコメントするときに所属する党と選出された州の名前がテロップに出ることが多い。日本では選挙などのときにしか見掛けないが、アメリカではいつでも「どの州選出の議員なのか」を視聴者に意識させるようになっている。

例えば、バーニー・サンダース議員が映るときには「バーモント（州）」と表示され、私でも「バーモントはこんなにリベラルな議員を選出する州なんだな」と分かる次第である。

日本でも同様のことをしたらどうだろう。そして例えば東京1区とか青森2区という選挙区の名前も、細かい地域名が分かるものにしたほうがいい。常に選挙区が歴然としていれば、有権者はヘタな議員を選出するわけにはいかない、という意識が今より働くはずだ。

恥ずかしい議員に地元を代表してもらっては困る、というわけだ。住民票を地元に残したままの若者の間でも、他県民の友達に対して恥ずかしくない議員を選ぶため不在者投票が増えるかもしれない。

世界で民主主義制度を持つ国は、今や多数派ではなくなったそうだ。スウェーデンの調査機関V-Demの19年調査によると、民主主義国・地域は87カ国、非民主主義国は92カ国だ。まっとうな議会制民主主義制度を持つ国で選挙権を持つことがいかに素晴らしいことか、多くの若者に実感してほしいし、権利を行使してほしいものだ。

出典：石野シャラン「日本で若者の投票率を上げる方法」Newsweek 日本版 2021.11.16

# ●学校推薦型選抜（公募入試／指定校入試）

## 【小論文】（試験時間：60分）

次の文章は、NGO（非政府組織）活動歴30年の筆者が、記者のインタビューを受けて話した記事の一部です。本文を読んで設問に答えなさい。

問1 筆者はNGOの活動を大きく分けて2点挙げています。それぞれ文中の漢字2字で答えなさい。

問2 筆者はNGOの存在意義をどのように考えていますか。50字以内でまとめなさい。

問3 日本のNGOの活動にはどのような問題点があると記されていますか。またそれらについて、あなたはどのように考えますか。全体で500字程度で述べなさい。

「政」が予算の優先順位をつけ、「官」がそれを遂行します。この過程で切り捨てられるものも決まる。この決定は誰がしなければならぬことであり、悪いとは言いません。ただ、取りこぼされる人や、日の当たらない問題が出る。そこに光を当てるのがNGOの役割だと思っています。

「全体の優先度は低くても、誰かにとっては死活問題だ」という認識や想像力を持つのは多様性を重んじることに通じます。

NGOに対しては、「あなたたちは誰からも選ばれていない。勝手にやっている」という批判があります。でも、選挙で投票してくれた多数の人を代表する「政」とは別に、少数の人の立場を代弁する。あるいは、後回しにされがちだったり、まだ争点になっていないが構造的・潜在的だったりする問題を提起し続けることこそがNGOの存在意義ではないでしょうか。

NGOの活動は、助けを必要としている人や地域への支援と、何かについて声を上げる啓発に大別できます。

「難民を助ける会」の活動で見れば、前者の代表例は東日本大震災など自然災害の被災者やシリアや南スーダンでの内戦に巻き込まれた市民への支援です。後者は、対人地雷禁止条約への日本国民の支持を広げるキャンペーンを展開し、政府に政策転換と加入を働きかけ、実現したことです。

2000年にNGO、財界、外務省が対等なパートナーシップの下で一体となって効率的な緊急支援を行うことを目的に、特定非営利活動法人（NPO法人）「ジャパン・プラットフォーム」が発足しました。旧ユーゴスラビア・コソボでの紛争で、欧米のNGOがこぞって支援に当たったのに、日本は非常に遅れた反省から誕生した組織です。

私たちの当初の想定は、次々と生じる国際紛争の緊急援助で日本が機動的に活動することでした。でも、紛争地での活動には資金がなかなか集まらない。

日本の一つの特徴として、自然災害の被災者には寄付金が集まるのに、紛争地での被害者支援になると苦労することがあります。企業の方々と話を重ねてわかったのは、自然災害の被災者は一点の曇りもない犠牲者で、その支援に異を唱える人はいないが、紛争は別だという考えです。紛争地に資金を出せば政治的意図があると疑われかねない。これでは自社の役員や顧客を説得できない、ということでした。

支援活動にせよ、問題提起の活動にせよ、欧米のNGOは、はるか先にいます。例えば、日本のNGOのトップ45団体と米国の20の開発・人道支援団体を比較した調査があります。1団体あたりの年間平均予算は米国の約492億円に対し、日本は6.3億円。平均職員数は米国の665人に対し、日本は23人。桁が違います。

カナダ政府高官から、「長年の活動を通して、政府とNGOのパートナーシップは対等でないと機能しないことを学んだ」と聞いたことがあります。この対等の関係を築くことが日本では難しい。

「難民を助ける会」は1979年、初代会長の相馬雪香がインドシナ難民支援を目的に始めました。相馬は、「議会政治の父」として知られる政治家・尾崎行雄の三女で、「政」「官」に知己が多かった。ところが、一緒にやろうと働きかけたら「それは官の仕事だ。民は余計なことはせんでもいい」と相手にされなかった。

この「民は余計なことはするな」というメンタリティーはいまだ、日本の官の一部に根強く残っていると感ずることがあります。

対人地雷やクラスター爆弾の禁止といった軍縮から戦争犯罪人の処罰、環境や貧困対策など国連の持続可能な開発の問題まで、NGOの提唱で国際世論が盛り上がり、ルールが作られることが、2000年前後から増えています。政府への提言や、一般の方々への問題提起は本来、NGOの大事な仕事です。

ただ、日本の場合、「市民社会」による啓発への抵抗感が、官にも民にも強くあるように感じます。

日本人は概して個人の道徳心は高い。でも、世界をよりよく変えるための努力より、周囲との調和に重きを置く人が多いのかもしれない。何かに対して声を上げることは、すなわち調和を乱すことにつながります。

日本のNGOも、この20年間ほどで成長しました。例えば、若い世代が持つイメージです。私がこの世界に入ったころにはまだ、奇抜な人の活動と見られがちだった。それが、ある程度、社会的に認知された仕事の仲間入りしたのを感じます。

出典：[あすへの考]【人道支援や問題提起】NGOが抱えるもどかしさ

「難民を助ける会」会長 長有紀枝氏 読売新聞朝刊 2021年7月4日

# ●国際学部特待生入試

【英語ライティング】（試験時間：30分）

Almost everyone in Japan studies English for at least six to eight years. However, many people in Japan have trouble communicating in English. Why do you think this is the case? From your experience, what do you think are the main problems with the English language education in Japan? You should write 200-250 words.

# ●一般選抜 D 日程入試

## 【総合問題】（試験時間：60分）

次の文章を読んで設問に答えなさい。

国連によると、世界の人口は15日（日本時間）にも80億人に達する見通しだ。国連は1日に公表した報告書で人口爆発によって温室効果ガスの排出量が急増し、気温上昇による異常気象や食糧不足に見舞われると①警鐘を鳴らしている。

報告書によると1950年に約25億人だった人口は70年代に40億人、2011年に70億人と推移し、現在までに3倍以上となった。

アジア圏が約44億人で55%に上り、中国とインドの2か国（約A億人）だけで全体の35%を占める。インドは来年、中国を抜き、世界最多となる見通しだ。

37年頃に90億人、58年頃に100億人を突破し、その後は、合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産む子ども数の推計値）の低下などによって、ほぼ横ばいとなる見込みだ。

国連は報告書で人口の急速な増加が「地球温暖化や気候変動など様々な環境劣化を引き起こしている」と指摘し、「化石燃料への過度の依存から②ダッキヤクする必要がある」と警鐘を鳴らした。

化石燃料の使用などによる二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出量は過去半世紀で倍増した一方、1990年以降、日本の国土の11倍超にあたる面積の森林が消失した。

温暖化の影響として「小さな島国が海面上昇の危機に直面している」と指摘。南太平洋の島国ツバルのナタノ首相は8日、エジプトで開催中の国連気候変動枠組み条約第27回締約国会議（COP27）で「温暖化する海が我々の土地をのみ込み始めている」と訴え、各国に化石燃料の廃止を求めた。

海面は今世紀末で最大55センチ上昇するとの予測もある。平均海拔約2メートルのツバルでは国土消失の危機に直面している。インド洋の島国モルディブも国土の大半が水没する恐れがあり、人工島への住民移住を進めている。

食糧問題も深刻な課題だ。報告書は「人口の増加が見込まれる多くの国が低所得国だ」と指摘し、「飢餓」が増える可能性を指摘した。特にアフリカは、現在の約13億人から約25億人に倍増すると予測される。アフリカではすでに気候変動による干ばつに加え、ロシアのウクライナ③シンリヤクによる穀物価格の④急騰に直面しているが、今後は一層厳しい状況に置かれそうだ。

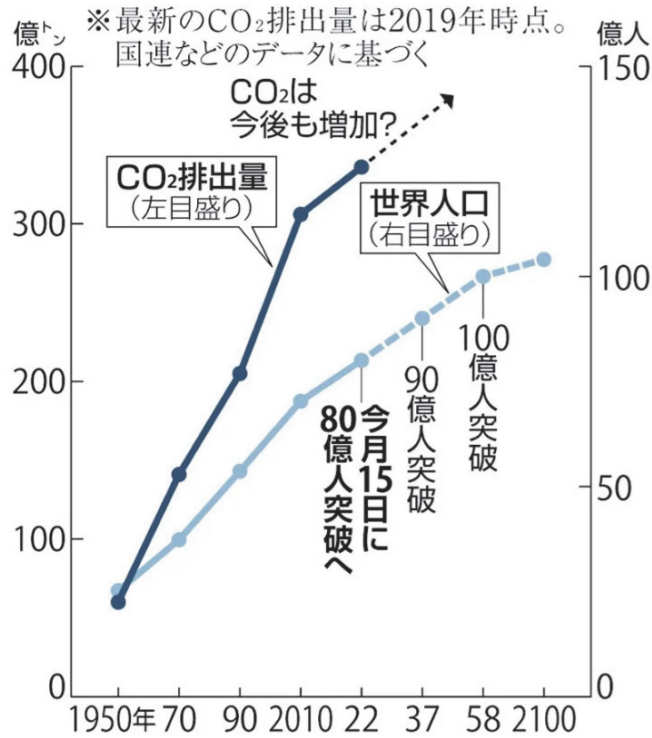
国連世界食糧計画（WFP）によると昨年、アフリカ諸国を中心に約8億2800万人が飢餓状態となった。特に南スーダンでは来年、国民の3分の2にあたる780万人に命の危険が迫る「深刻な飢餓状態」に直面する恐れがあるという。

国連は報告書で、先進国が低所得国に対し、「技術協力や資金⑤エンジョ」する必要性を訴えている。

出典：読売新聞 2022年11月15日 朝刊



◆資料：世界の人口と二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量の推移と予測



問1 下線部①～⑤の漢字はカタカナに、カタカナは漢字に直しなさい。

- ① 警鐘 ② ダッキヤク ③ シンリヤク ④ 急騰 ⑤ エンジョ

問2 A～Cに入る数値を求めなさい。また、本文や資料を参照し、DとEを求めなさい。

- (1) アジア圏が約44億人で世界人口の55%に上り、中国とインドの2か国(約A億人)だけで世界全体の35%を占める。アジア圏においてこの2か国を除く人口は約B億人で世界人口の約C%である。
- (2) 2058年の世界人口は1950年の約D倍になると予測されている。
- (3) 1950年から2010年における20年ごとのCO<sub>2</sub>排出量に着目すると、増加量が最も多いのはE年からの20年間である。

問3 世界人口の増加により生じる問題を本文中から取り上げ、それに対するあなたの考えを600字以内で述べなさい。

# ● 出題意図

## 総合型選抜 9月入試【出題意図】

---

### 1. 問題文選定理由

この試験問題では、日本語において性差を表すために使用される女言葉・男言葉について、志願者はどのように考えるのかを問うことにより、本学部が目指すグローバル人材の資質を測る。

### 2. 内容理解

日本語の翻訳では原文にはない女言葉や男言葉が性差を表すために使われることがあるが、その使用は時代差などを反映しているということを理解しているかを問う。

### 3. 問題発見・課題解決力、表現力

志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく問題発見・課題解決力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

### 正解例

#### 問1

日本語における語り手の性差を示す女言葉や男言葉の使用は、原文にはなくても、映像や音声のない登場人物のイメージを「クリア」にし、翻訳の不自然さや読者の読みづらさを避けるためにはやむをえないということ。(99字)

## 総合型選抜 10月入試【出題意図】

---

### 1. 問題文選定理由

この試験問題では、文化の多様性、言語と文化の関係、グローバル化による文化の画一化などについて、志願者はどのように考えるのかを問うことにより、本学部が目指すグローバル人材の資質を測る。

### 2. 内容理解

「文化の多様性」と「グローバル化」の関係について問うことによって、文化の多様性の重要性を理解しているのかを問う。

### 3. 問題発見・課題解決力、表現力

志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく問題発見・課題解決力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

### 正解例

#### 問1

言語がなくなれば文化もなくなる。(16字)

#### 問2

文化の多様性の擁護が忘れられるような傾向が容易に出てくるから。(31字)

## 総合型選抜 12月入試【出題意図】

---

### 1. 問題文選定理由

この試験問題では、志願者が、海外の例を参考に、日本で若者の投票率を上げる方法をどのように考えるかを問うことにより、本学部が目指すグローバル人材としての資質を測る。

### 2. 内容理解

日本の若者が投票に行かない現状を把握し、その状況への対策を提案することで民主主義のあり方、民主主義の活性化を考えるべきだとする筆者の主張を理解しているかを問う。

### 3. 問題発見・課題解決力、表現力

志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく問題発見・課題解決力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

### 正解例

#### 問1

だれに投票すればいいのか分からないということと、いま住んでいる市町村で投票できないということ。(46字)

#### 問2

議員がテレビニュースなどに出る際には、所属する党と選出地域名を明示すること。(38字)

## 学校推薦型選抜（公募入試／指定校入試）【出題意図】

---

### 1. 問題文選定理由

この試験問題では、NGOの存在意義や日本のNGOの現状などについて志願者はどのように考えるのかを問うことにより、本学部が目指すグローバル人材としての資質を測る。

### 2. 内容理解

NGOの役割や存在意義、日本のNGOの現状と世界のNGOとの比較、日本のNGOが抱える問題の背景などを理解しているのかを問う。

### 3. 問題発見・課題解決力、表現力

志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく問題発見・課題解決力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

### 正解例

#### 問1

支援/援助（と）啓発

#### 問2

少数の人の立場を代弁し、まだ争点になっていない構造的・潜在的な問題を提起し続けること。(43字)

## 国際学部特待生入試【出題意図】

---

ライティングのテーマとしては、高校生が自身の経験等に基づいて、比較的容易に考えを述べられる「日本における英語教育」とした。英語の語彙、語法、文法に関わるスキルや、表現力、パラグラフ構成力など、表現力全般についての力を測る。

## 一般選抜 D 日程入試【出題意図】

---

### 1. 問題文選定理由

この試験問題では、世界の人口増加やそれに伴う環境問題・食糧問題などについて志願者はどのように考えるのかを問うことにより、本学部が目指すグローバル人材としての資質を測る。

### 2. 内容理解

世界の人口爆発によって、温室効果ガスの排出量が急増し地球温暖化の影響から海面上昇の危機に直面していることや気候変動など様々な環境劣化が起きていること、また気候変動による干ばつや穀物価格の急騰のために低所得国において飢餓が増える可能性があるといった食糧問題も深刻な課題であることについて理解しているのかを問う。

### 3. 問題発見・課題解決力、表現力

志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく問題発見・課題解決力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

### 正解例

#### 問1

- ① ケイショウ    ② 脱却    ③ 侵略    ④ キュウトウ    ⑤ 援助

#### 問2

- A: 28    B: 16    C: 20    D: 4    E: 1990